



## 第6章 計画推進のために

---

# 6-1 市民協働の推進



**担当課** 特命推進室、地域づくり課

**主な関係課** 全ての課



## 基本方針

市民が主役のまちづくりを進めるため、産学官民の連携の下、市民の意向の把握や市民活動の活性化を図るとともに、市民と行政それぞれの役割を踏まえた協働の実現を目指します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「市民協働の推進」の市民実感度 <sup>※1</sup>	%	15.8 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上
市民活動推進センター「ゆい」にて支援した市民活動等の事業数	事業	90	102	108	114	120



## 現況と課題

- ◆市民の意向を反映させた市政を推進するため、市民の積極的な市政への参画を進める必要があります。
- ◆市民活動をまちづくりにつなげるため、市民活動団体の自主・自立・自発の機運を醸成させることが課題となっています。
- ◆少子高齢化・人口減少などに伴い、自治組織では担い手や後継者確保に課題を抱えており、地域コミュニティの安定的な運営体制の構築が課題となっています。

※1 「市民協働の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市では地域の課題解決に市民と行政が協力して取り組んでいる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



## 施策の方向

### 1. 市民参画の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
笑顔のふれあいトークの参加者アンケートの設問「参加してどのような感想を持ったか」に対し、「満足」と回答した人の割合	%	90.0 (2019年度)	調査の都度 向上	調査の都度 向上	調査の都度 向上	調査の都度 向上

#### 施 策

1. 市民参画の充実

### 2. 地域づくりの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市民活動推進センターの利用者数	人	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
ゆいねっと <sup>※2</sup> の情報発信数	回	110	121	133	146	160

#### 施 策

1. 市民活動の促進
2. 自治組織との連携強化



市長対話集会「笑顔のふれあいトーク」

※2 ゆいねっと…桐生市、桐生市社会福祉協議会およびきりゅう市民活動推進ネットワークが、市民による社会貢献活動の促進を目的に運営する、市民活動のマッチング機能を有したポータルサイト。

## 6-2 シティブランディングの推進



**担当課** 魅力発信課

**主な関係課** 全ての課



### 基本方針

市民にとってより一層暮らしやすいまちになること、また、首都圏をはじめ市外のより多くの人から選ばれるまちになることを目指し、市民、団体、事業者が、桐生の「らしさ」や「持ち味」を活用して、まちの価値を大きくする取り組みを推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「シティブランディングの推進」の市民実感性 <sup>※1</sup>	%	31.1 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上
人口総数に対する転出者の割合	%	3.02	2.90	2.80	2.70	2.60



### 現況と課題

- ◆本市では、“産業と自然、教育と文化に育まれたファッションタウン桐生の創造”をコンセプトとするファッションタウン構想<sup>※2</sup>について、本市の目指すべきまちづくりの方向性と共通していることから、市民や関係機関との連携を図りながら支援しています。
- ◆地域の魅力を再発見・磨き上げようとする取り組みが複数の団体により市内各所で展開されており、市民主体の地域活性化の動きが活発化してきています。
- ◆まちの価値を大きくする取り組みを推進するに当たっては、市民、団体事業者が地域に関心を持ち、まちの価値、魅力に気づくことが重要です。
- ◆まちの価値を大きくする取り組みや地域を見つめ直すことは、居留意欲の向上のためにも重要です。
- ◆取り組みの推進に当たっては、都市経営や民間主導による公民連携などの新たな視点を積極的に取り入れながら、活動環境を整えることが重要です。

※1 「シティブランディングの推進」の市民実感性…市民の声アンケートの「自分は桐生市に対して、まちとしての価値や魅力を感じる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 ファッションタウン構想…地域が地域にある産業の発展を図りつつ、その地域の歴史・文化、観光資源等との融合および消費地との直結による新しい経済活動創出を図り、新しいファッション情報発信基地・生活文化都市としての総合的なまちづくりにより産業と地域の活性化を図ろうとするもの。構想を具現化する組織として、1997年5月に、ファッションタウン桐生推進協議会が桐生商工会議所内に発足。



## 施策の方向

### 1. シティブランディングの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市民の声アンケートの設問 「桐生市に対する考えを聞かれたときに、 住む場としてどのくらい桐生市を薦め ますか」における、10段階評価の平均値	ポイント	6.0 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上
市民の声アンケートの設問 「桐生市に対する考えを聞かれたときに、 訪れる場としてどのくらい桐生市を薦め ますか」における、10段階評価の平均値	ポイント	5.5 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上
インスタグラムで 「#(ハッシュタグ)桐撮り」を付けた投稿数	件	1,841	2,000	2,200	2,500	3,000
桐生市公式ツイッターの投稿に対する リツイート数	件	1,525	2,000	2,200	2,500	3,000

#### 施 策

1. 理念・方針等の周知啓発 重点施策(総合戦略)
2. 推進体制の整備・活動支援 重点施策(総合戦略)



## 主な関連計画

- ◇桐生市シティブランディング戦略（2019年3月～）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）



桐生市シティブランディング戦略

## 6-3 広報・広聴の充実



**担当課** 魅力発信課、地域づくり課

**主な関係課** 全ての課



### 基本方針

市民の声を市政に反映するため、さまざまな手法で市民の意向を把握するとともに、市政情報を適切な時期に適切な内容で市内外に積極的に発信します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「広報・広聴の充実」の市民実感度※1	%	12.3 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上



### 現況と課題

- ◆市民の意向を反映した市政を推進するため、広聴については現行の手法のほか、新たな市民の声を市政へ反映する手段や方法について検討する必要があります。
- ◆広報活動については、市民と行政との協働の推進、情報の共有化という観点からも重要です。
- ◆市民にとって有益でわかりやすい広報紙のあり方について研究するとともに、インターネットをはじめとした新しい媒体により、市民の求める情報や市の魅力を的確かつタイムリーに市の内外に発信して行く必要があります。

※1 「広報・広聴の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は市民の声を適切に聴き取り、積極的に情報を発信している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



## 施策の方向

### 1. 広報・広聴の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市民の声アンケートの設問「広報さりゅうを読んでいますか」に対し、「読む」と回答した人の割合	%	69.9 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上
市ホームページへのアクセス件数	件	5,342,272	5,300,000	5,400,000	5,500,000	5,600,000
市の報道発表資料による新聞紙上への掲載件数【延べ】	件	305	310	320	330	340
桐生ふれあいメール <sup>※2</sup> の登録者数【延べ】	人	12,124	13,000	13,500	14,000	14,500

#### 施 策

1. 広報活動の推進
2. 広聴活動の推進
3. 市民相談の充実

※2 桐生ふれあいメール…登録者に対して防災・防犯などの情報をEメールで配信する、桐生市が運用している登録制メールサービス。

## 6-4 男女共同参画の推進



**担当課** 地域づくり課

**主な関係課** 全ての課



### 基本方針

男女共同参画社会の実現のため、男女が社会の対等な構成員として互いを尊重し、ともに責任を分かち合いながら、あらゆる分野でいきいきと活躍していける環境づくりを推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「男女共同参画の推進」の市民実感度※1	%	11.5 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上



### 現況と課題

- ◆男女共同参画に関する法律や制度の整備が進む一方で、固定的な性別役割分担意識やそれに基づく慣習・慣行などが、家庭・職場・地域などさまざまな場面における男女共同参画の実現を妨げる大きな障壁となっています。
- ◆男女平等や男女共同参画を実現していくためには、一人ひとりが固定的な性別役割分担意識を解消し、ともに「男女問わず誰もが能力を発揮できる環境づくり」に取り組んでいくことが重要です。

※1 「男女共同参画の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は男女問わず誰もが家庭・職場・地域など、あらゆる場面で活躍できる環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。





## 施策の方向

### 1. 男女共同参画の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
各審議会等の女性委員の登用率	%	22.7	30.0	31.0	32.0	33.0

#### 施 策

1. 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり
2. あらゆる分野における男女共同参画推進
3. 男女がともに安全安心に暮らせるまちづくり



## 主な関連計画

◇ 桐生市男女共同参画計画（2016～2020年度）

## 6-5 地域連携の推進



**担当課** 秘書室、広域連携推進室

**主な関係課** 全ての課



### 基本方針

交通・通信網をはじめとする社会資本整備の充実や進展に伴う市民の日常生活圏の拡大に対応するとともに、市民生活の利便性向上、行政運営の効率化につなげるため、地域連携を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「地域連携の推進」の市民実感度 <sup>※1</sup>	%	9.3 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上



### 現況と課題

- ◆本市は、両毛広域都市圏総合整備推進協議会<sup>※2</sup>を構成する2県11市町との緊密な連携により、効率的で機能的な広域行政を展開するとともに、国内親善都市である茨城県日立市、徳島県鳴門市と観光や物産の振興において、交流を深めるなど、さまざまな地域の連携を推進しています。
- ◆人口減少や少子高齢化の進行、広域的な行政需要の増大、行政改革の推進という大きな流れの中、持続可能なまちづくりを進めながら、市民サービスの維持・向上を図るため、広域的な視野に立った都市間連携が必要となっています。

※1 「地域連携の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は市民生活の利便性向上のために積極的に他の都市などと連携している」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 両毛広域都市圏総合整備推進協議会…両毛地域のより深い交流と、一体となったまちづくりを推進するために、1992年9月に設立された協議会。群馬・栃木の2県、桐生・太田・館林・みどり・足利・佐野の6市、邑楽郡の板倉・明和・千代田・大泉・邑楽の5町で構成され、各種PR事業やイベント事業のほか、公共施設の相互利用の推進など、さまざまな事業を展開している。



## 施策の方向

### 1. 地域連携の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
広域連携事業※ <sup>3</sup> 数	事業	59 (2017年度)	61	63	65	67

#### 施 策

1. 地域連携の推進

重点施策(総合戦略)



## 主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020~2024年度)

序  
論

基本構想

基本計画

産業経済

福祉・健康

教育・文化

生活環境

都市基盤

計画推進

資料編

※3 広域連携事業…他市町村との連携事業において、市民生活に直接関係し、市民サービスの向上等に資する事業。

## 6-6 国際交流の推進



**担当課** 総務課、学校教育課、黒保根公民館

**主な関係課** 防災・危機管理課、商工振興課



### 基本方針

異なる国籍の市民同士が同じ地域の中で交流しながら安心して暮らしていくため、多言語に対応した施設環境を整備するとともに、国際交流を促進し、多文化共生<sup>※1</sup>を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「国際交流の推進」の市民実感度 <sup>※2</sup>	%	16.6 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上



### 現況と課題

- ◆本市の外国人住民は、2019年2月末現在で1,884人であり、群馬大学理工学部で学ぶ各国からの留学生も多く、日常生活において市民が外国人と関わる機会も多くなっており、市内小・中学校においても帰国児童や外国人児童等が増加しています。
- ◆各学校において、国際理解を深めるための教育を充実するとともに、学校生活への適応や日本語の習得への適切な指導が必要となっています。
- ◆国際姉妹都市であるコロンバス市（アメリカ）やピエラ市（イタリア）と教育や文化、経済などの交流を深めたり、桐生市国際交流協会や県と連携する中で、市民の国際感覚の醸成や多文化共生<sup>※1</sup>の推進を図る必要があります。
- ◆自然災害が頻発する近年、災害関連情報や避難所における掲示物の多言語化など、外国人住民への配慮が必要となっています。

※1 多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的なちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

※2 「国際交流の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



## 施策の方向

### 1. 国際交流の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
国際姉妹都市との交流事業や 国際交流に関する講座等の参加者数	人	231	235	240	245	250
在住外国人支援事業の利用件数	件	256	260	260	260	260
中学生海外派遣事業の参加者数	人	10	10	10	10	10

#### 施策

1. 国際教育の充実
2. 外国人住民に対する支援・交流の推進



西町インターナショナルスクール交流事業（田植え交流）

# 6-7 効率的で健全な行財政運営



**担当課** 企画課、総務課、人材育成課、財政課、情報管理課、税務課、納税課

**主な関係課** 全ての課



## 基本方針

限られた資源を有効に活用し、持続可能都市に向けた行政経営を推進するため、行政自らが変化し、あらゆる課題に柔軟に対応できるように組織形態や運営方法を見直します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「効率的で健全な行財政運営」の市民実感度 <sup>※1</sup>	%	17.1 (2019年度)	—	調査の都度 向上	—	調査の都度 向上
普通会計の経常収支比率 <sup>※2</sup>	%	95.0 (2017年度)	95.0	95.0	95.0	95.0
行政改革方針実施計画の目標とする累積効果額(約71億円)の達成率(延べ)	%	0	5.0	10.0	20.0	30.0



## 現況と課題

- ◆さまざまな視点から事務事業を見直すとともに、新たな行政ニーズに対し、民間活力の活用を図りながら、より効率的・効果的に対応できる行政経営を推進する必要があります。
- ◆サービス水準の維持・向上および費用対効果を十分に検討し、民間活力の活用を図るとともに、市民団体等との連携を深め、自治組織、NPO<sup>※3</sup>および民間との協議の更なる推進を図る必要があります。
- ◆自主性・自立性の高い行政経営を行うため、それを支えていく職員の意識改革、人材育成を推進する必要があります。
- ◆個人情報や行政情報を適正に管理し、市政に対する市民の信頼を確保するとともに、ICT（情報通信技術）<sup>※4</sup>を効果的に活用するなど、市民サービスの向上を図ることが求められています。
- ◆課税客体を正確に把握し公正な賦課を行い、市税等の収納率の向上を図るとともに、遊休資産の利活用や委託料、補助金の見直し等を行い、事務・事業コスト削減に努める必要があります。

※1 「効率的で健全な行財政運営」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市では効率的な行政運営が行われ、必要な行政サービスが提供されている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 普通会計の経常収支比率…財政構造の弾性を測る指標であり、市税などの経常的な収入に対し、借入返済等の経常的に支払わなければならない支出を比べたもの。数値が高いほど財政運営が逼迫していることを示す。

※3 NPO…Non-Profit Organization の略で、ボランティア活動などの社会貢献活動や慈善活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

※4 ICT（情報通信技術）…Information and Communication Technology の略で、通信技術を活用し、人とインターネット、人と人がつながる技術。



## 施策の方向

### 1. 効率的な行政運営の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
行政改革方針に基づく職員数【延べ】	人	1,090	1,073	1,028	1,004	994
市民に影響のあるネットワークシステム トラブルの発生件数	件	0	0	0	0	0

#### 施策

1. 行政経営の推進 重点施策
2. 情報化の推進

### 2. 安定した財政運営の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市税の収納率	%	93.01	95.74	95.74	95.74	95.74
実質公債費比率 <sup>※5</sup>	%	5.1(2017年度)	5.1	5.1	5.1	5.1
将来負担比率 <sup>※6</sup>	%	9.0(2017年度)	8.5	8.0	7.5	7.0

#### 施策

1. 安定した財政基盤の形成 重点施策
2. 民間企業の経営管理手法の導入

### 3. 公共施設マネジメントの推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
公共施設等総合管理計画の類型別に 策定する個別計画数【延べ】	計画	0	23	23	23	23
閉校後の跡利用方針が未決定の施設数【延べ】	施設	2	0	0	0	0

#### 施策

1. 公共施設マネジメントの運営 重点施策(総合戦略)
2. 用途廃止後の施設の有効活用 重点施策(総合戦略)



## 主な関連計画

- ◇ 桐生市行政改革方針（2019～2028年度）
- ◇ 桐生市人材育成基本方針（2014年5月～）
- ◇ 桐生市公共施設等総合管理計画（2017～2051年度）
- ◇ 桐生市学校施設等跡利用検討方針（2008年11月～）
- ◇ 第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

※5 実質公債費比率…財政の健全度を測る指標の一つで、収入に対する公債費（借入の返済費用）の占める割合を示すもの。25%を超えると、計画的に健全化に向けて取り組まなければならない。

※6 将来負担比率…財政の健全度を測る指標の一つで、借入等の将来にわたり支払うべき金額を含めた事実上の負債が、収入に対しどの程度あるかを示すもの。350%を超えると、計画的に健全化に向けて取り組まなければならない。

## 重点施策

本市の最重要課題として引き続き人口減少問題に取り組むため、人口減少克服及び地方創生を目的とする「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を基本計画における「重点施策（総合戦略）」として位置づけるほか、人口減少対策にかかわらず本市が重点的に取り組む必要がある施策を「重点施策」として位置づけます。

施策の方向性	分野別施策	重点施策（◆：総合戦略）
1. 産業経済の振興	1. 地域産業の活性化	◆市内企業の成長支援 ◆創業・事業承継の促進 ◆商品開発・販路開拓の支援
	2. 企業立地の推進	◆計画的な工業団地の整備 ◆企業誘致活動の推進
	3. 商業の活性化とにぎわいづくり	◆魅力ある商店づくり ◆中心市街地活性化の推進
	4. 雇用・労働環境の充実	◆雇用の確保と安定化
	5. 農林業の活性化	◆農業の担い手の育成・確保 ◆魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化 ◆林業後継者の育成 ◆林業振興と林業生産基盤の整備
	6. 観光の振興	◆観光客誘致活動の推進 ◆観光拠点機能の充実
2. 福祉・健康の増進	1. 子ども・子育て支援の充実	◆結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援 ◆子育て支援サービスの充実
	2. 介護・高齢者福祉の向上	◆地域包括ケアの推進 ◆介護予防・重度化防止の推進
	5. 健康づくりの推進	◆生活習慣病予防の推進 ◆生活習慣病の重症化予防 保健事業の充実
	6. 地域医療の充実	桐生厚生総合病院の機能の充実
3. 教育・文化の向上	1. 学校教育の充実	◆桐生ならではの特色ある教育の充実
	2. 教育研究の推進	◆教育研究・研修の充実 ◆教育相談の充実
	3. 青少年健全育成の推進	◆青少年保護活動の充実
	4. 生涯学習の推進	◆学校・地域との連携の推進
	6. スポーツの振興	◆スポーツ施設の充実
4. 生活環境の向上	1. 環境保全対策の推進	◆温暖化対策の推進
	4. 防災・減災対策の推進	◆地域防災力の向上 情報通信体制の強化
5. 都市基盤の整備	1. 土地利用と景観の形成	◆持続可能な都市の形成
	2. 歴史まちづくりの推進	◆歴史的風致を活用したまちづくりの推進 ◆歴史まちづくりの整備
	3. 道路交通網の整備	◆北関東自動車道へのアクセス道路の整備 ◆幹線道路の整備
	4. 公共交通体系の充実	◆鉄道利用の促進 ◆バス交通網の充実
	5. 住宅対策の推進	市営住宅の整備 ◆移住・定住の促進
	7. 水道水の安定供給	上水道施設の整備 企業経営の健全運営
	8. 汚水・雨水の適正処理	処理施設の整備
6. 計画推進のために	2. シティブランディングの推進	◆理念・方針等の周知啓発 ◆推進体制の整備・活動支援
	5. 地域連携の推進	◆地域連携の推進
	7. 効率的で健全な行財政運営	行政経営の推進 安定した財政基盤の形成 ◆公共施設マネジメントの運営 ◆用途廃止後の施設の有効活用